

〈デジタルアーカイブジャパン推進の経緯と今後の展開〉

フェーズ0

2016

推進体制の整備 デジタルアーカイブ化促進

- 会議体の設置
- 現状把握と各種課題の検討
- 先進機関におけるアーカイブ構築

【具体的取組み】

- ・デジタルアーカイブ推進に関するタスクフォースの設置 (2014.2)
- ・関係省庁連絡会/実務者協議会の開催 (2015.9~) →とりまとめ公表

「我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性」 (2017.4)
「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」 (2017.4)

フェーズ1

2017-2020

統合ポータルの整備と運用の開始 分野間のアーカイブ連携促進

- 各分野・機関における資料等のデジタル化・システム整備等の促進
- アーカイブ利活用に向けた基盤整備
- ジャパンサーチの公開と機能の強化
- つなぎ役の育成および連携の促進
- 利活用事例の創出

【具体的取組み】

- ・デジタルアーカイブジャパン推進委員会/実務者検討委員会の設置 (2017.9~) →各種指針等・報告のとりまとめ・公表

「デジタルアーカイブアセスメントツール」 (2018.4)
「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について」 (2019.4)
「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン」 (2020.8)
「我が国が目指すデジタルアーカイブ社会の実現に向けて (3か年総括報告書)」 (2020.8)

- ・ジャパンサーチ試験版 (2019.2)、正式版 (2020.8) の公開

フェーズ2

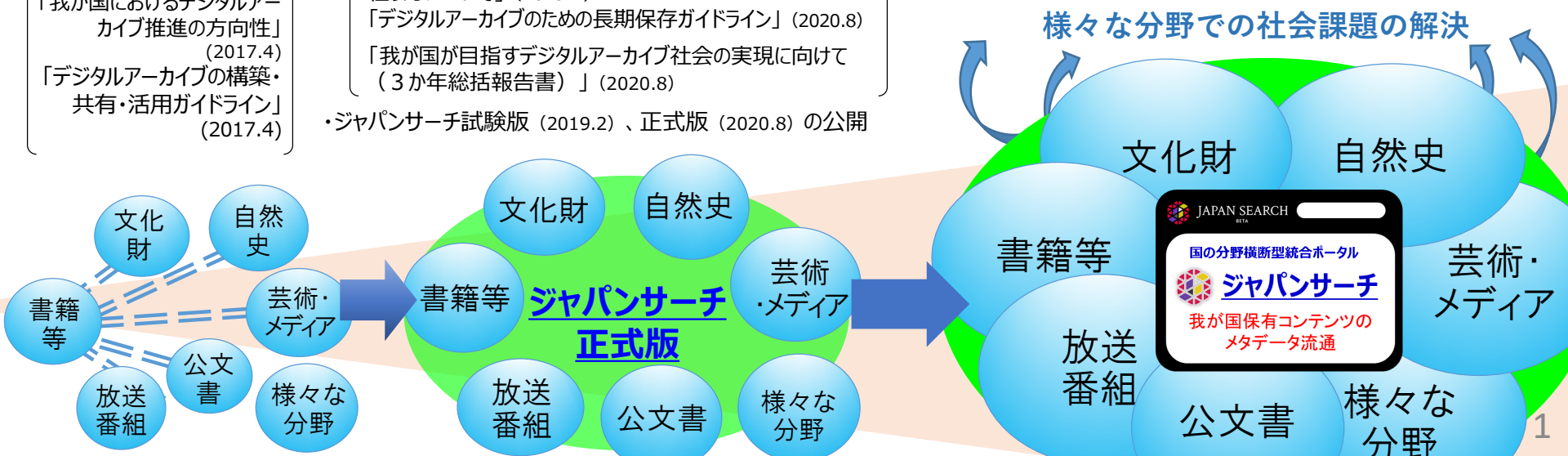
2021-2025

ジャパンサーチを核とした デジタルアーカイブの拡充・利活用の促進等

- デジタルコンテンツの拡充・オープン化の推進
- ジャパンサーチを核とした、アーカイブ機関の連携の強化 (つなぎ) とデジタルアーカイブの利活用の拡大 (拡げ)
- アーカイブ機関の人材教育支援
- デジタルアーカイブジャパンの今後の推進の在り方検討・関連他分野の政策との連携方針・役割分担等の明確化

【具体的取組み】

- ・「ジャパンサーチ戦略方針2021-2025」の策定 (2021.9) →「ジャパンサーチアクションプラン2021-2025」 (2022.4) →「『ジャパンサーチ戦略方針2021-2025』の実行に向けた各分野の工程表」 (2022.7)



「ジャパンサーチ戦略方針」の実行に向けて取り組むべき課題

ジャパンサーチ戦略方針・アクションプラン

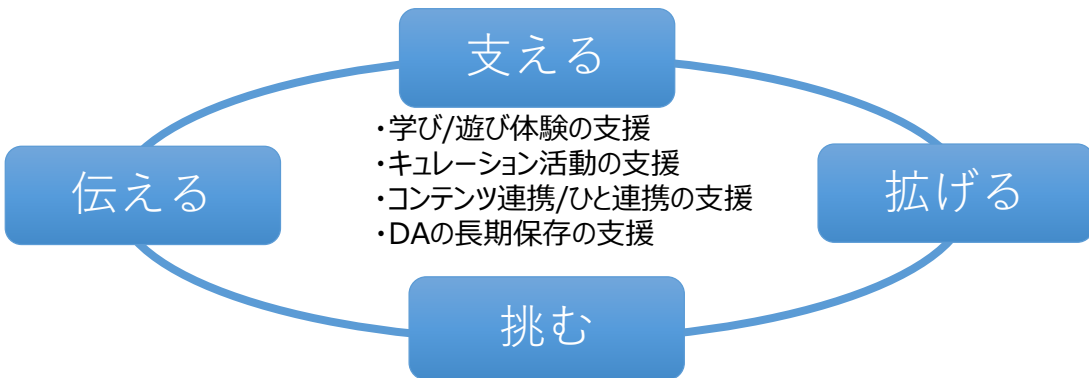
3つの価値

4つのアクション

記録・記憶の継承
と再構築

コミュニティを支える
共通知識基盤

新たな
社会ネットワークの形成



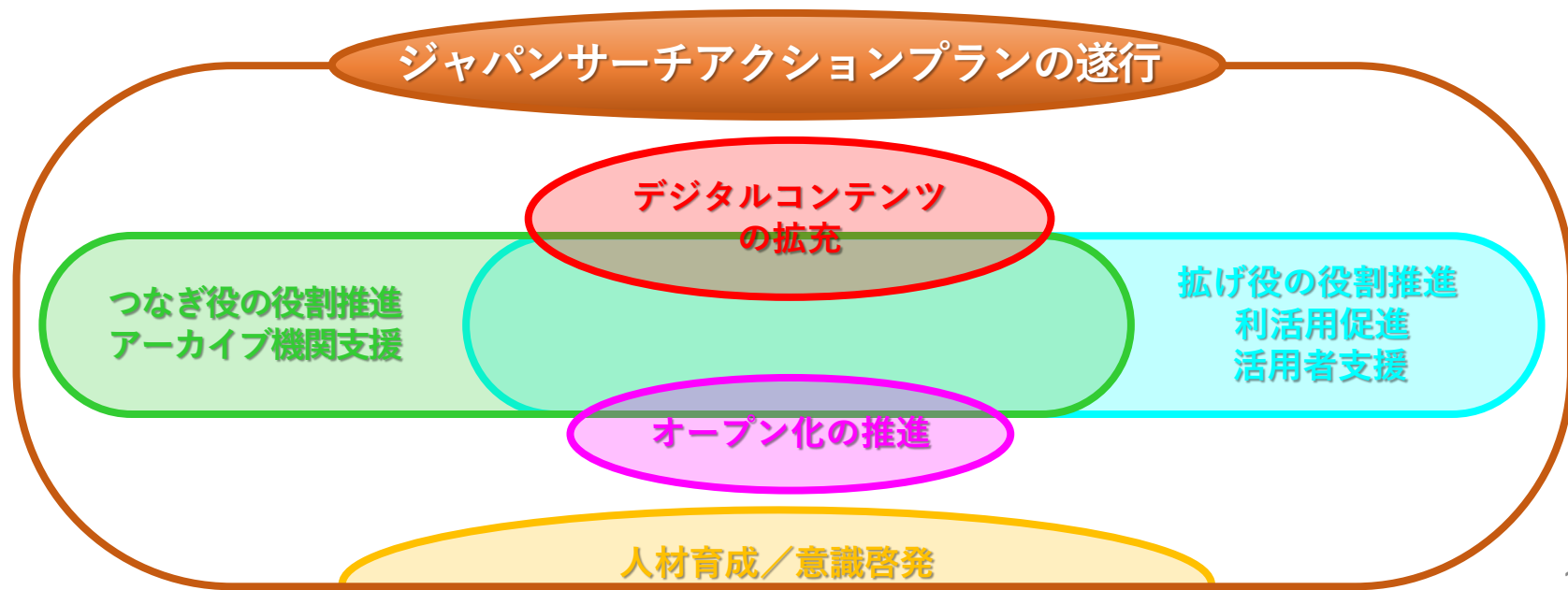
- ・DAの集約/整理と継承
- ・活用方法の情報共有
- ・構築・連携の情報共有
- ・魅力の発信

- ・学び/遊び体験の支援
- ・キュレーション活動の支援
- ・コンテンツ連携/ひと連携の支援
- ・DAの長期保存の支援

- ・デジタル化推進/DAの拡充
- ・人材発掘/ファンの拡大
- ・地域DAとの連携拡充
- ・利用条件表示等の拡大

- ・オープン化の推進
- ・先端技術の導入
- ・新たなネットワークの構築
- ・社会のDX化の促進

6つの課題



■全体「ジャパンサーチ戦略方針2021-2025」の実行に向けた工程表

項目	年度	2021	2022	2023	2024	2025
ジャパンサーチ アクションプラン の遂行		戦略方針 策定	アクション プラン策定	アクションプランの推進（連携拡充・活用促進・広報強化等）		
				次期運営体制の検討	次期戦略方針の検討	
デジタルコンテンツ の拡充			JPSの連携方針具体化・ コレクションポリシーの策定	コレクションポリシーに沿ったJPS連携拡大		
			アーカイブ機関の資料デジタル化及びデジタル資料収集の促進に向けて、関係府省等へ取組への協力			
			「長期保存ガイドライン」の周知（必要に応じて改訂）			
オープン化の促進		オープン化の好事例の整理、情報発信				
		「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について」の周知（必要に応じて改訂）				
人材育成・意識啓発		「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」・「アセスメントツール」の改訂・周知				
		産学官FおよびJPS関 連イベント開催	JPS2周年 イベントの開催			
つなぎ役の役割推進 アーカイブ機関支援		つなぎ役支援策の検討／候補機関の構築・拡大／JPSとの連携拡大				
		アーカイブ構築支援事例の共有				
			アーカイブ構築相談窓口の検討	相談窓口体制の整備・周知		
拡げ役の役割推進 利活用促進 活用者支援			拡げ役支援策の検討	拡げ役の支援・利活用促進		
		JPS等での活用事例の共有・発信				
		利活用者向けイベントの開催				
その他独自の取組等		次期デジタルアーカイブジャパン推進体制の検討			新しい推進体制の運用	

(参考)「ジャパンサーチ戦略方針」の実行に向けて取り組むべき6つの課題

(ジャパンサーチアクションプランの遂行)

デジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会的実現を目指し、ジャパンサーチを核として、デジタルアーカイブの拡充と利活用の促進を図るよう、「ジャパンサーチアクションプラン」に掲げる目標を踏まえ、各分野で求められる取組みを、できることから着実に遂行していくことが必要。

(デジタルコンテンツの拡充)

関係アーカイブ機関が連携しつつ、人的資源の確保や財源確保、権利処理、技術的課題への対応等を図りながら、デジタルコンテンツの収集や、収蔵する各種資料のデジタル化、長期保存のための取組等を進め、各分野におけるデジタルコンテンツの拡充を推進していくことが必要。

(オープン化の促進)

デジタルコンテンツの発見可能性を高めるよう、メタデータのオープン化（原則CC0）や、サムネイル／プレビューの公開等を進めるとともに、それらコンテンツがどのような条件で利用できるのかを分かりやすく伝えるよう、適切な二次利用条件表示の取組を推進することが必要。さらに、著作権者等の権利保護にも十分留意しつつ、自由に利用できるデジタルコンテンツ等（CC0、CC BYなど）の公開を拡大していくことが必要。

(人材育成・意識啓発)

所蔵するコンテンツの中に付加価値を見出し、発信することのできるキュレーター人材や、各分野・地域等の事情を理解した上で、デジタルアーカイブを構築し、国際標準とすり合わせていくことのできる人材を育成していくことが必要。外部専門人材の活用やアーカイブ機関の専門スタッフの広域活用など、人的基盤の整備に向けた多様な方策の検討も必要。デジタルアーカイブ活動の重要性等について、アーカイブ構築側・利活用側双方の理解を深め、その認識を共有していけるよう、広報活動等に努めることが必要。

(つなぎ役の役割推進／アーカイブ機関支援)

各分野におけるジャパンサーチとの連携のつなぎ役として、連携先の拡大に努めるとともに、デジタルコンテンツの拡充に向けた各般の課題への対応等を先導するなど、関係アーカイブ機関への支援の取組を推進していくことが必要。

(拡げ役の役割推進／利活用促進・活用者支援)

社会におけるデジタルアーカイブ活用を推進する拡げ役として、利活用促進や利用者支援の取組を自ら推進するとともに、これら役割を共に担う機関や団体、個人等の輪を拡げていくことが必要。